



koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号/電話 0178-44-3866/FAX 0178-43-9077
<https://kouryo-high-school.com> /メール kouryo@chibagakuen.ac.jp

自転車ヘルメット着用向上を ～安心安全な生活を地域の方々とともに～



9月8日(火)、「自転車乗用ヘルメット着用モデル校横断幕交付式」が本校体育館で行われた。交付式では、八戸警察署長から代表生徒へ横断幕が贈呈され、安心安全応援団長の十日市秀悦氏やご当地アイドルのpachiのお二人からは、のぼり旗とヘルメット着用についてのメッセージをいただいた。交付式の後は、pachiのミニライブで盛り上がり、今後も交通ルールを守って安全な生活が送れるよう全校で「安全な行動」について再確認した。放課後は、生徒7名がよこまちストア新井田店に移動。交付式にご出席いただいた方々と、来店客や地域住民に向けて、自転車に乗る際のヘルメット着用や交通ルール遵守を呼びかけた。



横断幕寄贈式

【教育実習を終えて】
 3週間、教科担当の先生はもちろん、いつも温かく接して下さった先生方、本当にお世話になりました。先生方が何を大切にしているのか、どのような授業が生徒に寄り添えるのかを学ぶことができました。大学では自身の課題を克服し、いつか向陵の先生方のような素晴らしい人になりたいと強く思います。

【向陵生へメッセージ】
 学校生活の中で、「大変なこと」、「辛いこと」、「納得できないようなこと」に直面することもあるでしょうが、その中に、あるいはその後に「できた」、「楽しい」、「嬉しい」ことが転がっていることがあります。それが、後々、財産となることは確かです。皆さんが、向陵高校で充実した高校生活を送れるよう願っています。

卒業生から

本校卒業生の伊藤みんとさん(白山台中学校出身・尚絅学院大学4年)が3週間の教育実習を振り返ってくれた。



避難訓練

9月(金)、火災を想定した避難訓練を実施した。火災発生時の基本原則は「下へ」「外へ」であるが、今回は火元を2階に想定し、火元の上下階で異なる避難行動、避難経路の確認を行った。また、防災委員が水消火器を使い、消火訓練を行った。



【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 川俣 創(笠間市立笠間中学校出身)

【得点】3年 田邊 慧(横浜市中区立西中学校出身)
 1年 竹内 正剛(常滑市立常滑中学校出身)

【得点】3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)
 2年 高山 勝史(湊中学校出身)
 1年 出川 龍旺(白銀南中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)



【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

【得点】3年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身) 2
 3年 小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)

サッカー試合結果

《高円宮杯JFA U18サッカーリーグ県2部2026》

第105回全国高校サッカー選手権大会 青森県大会 組合せ表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

選手権組み合わせ決定

9月(水)、県総合社会教育センターにおいて、第105回全国高校サッカー選手権青森県大会の組み合わせ抽選会が行われた。各校の熱戦は、月(土)から始まる。今大会には連合5チームを含むチームが参加する。本校は月(日)、十和田市若葉球技場で三沢高校との戦いが初戦となる。

レッツ・スポーツー講座

【ライツネスコース】

1年 木下 嘉晃(下長中学校出身)



午前中前半は足を中心に鍛え、後半は上半身を鍛えました。中でも格闘技のレッスンは、一番体力を使い、一番苦戦しました。徐々に足が上がらなくなっていました。午後はヨガをやりました。体が硬い自分にはヨガは無理だと思いましたが、バランスポリは誰よりありました。楽しんで活動することができました。

【トランポリンコース】

1年 下田 麻純(東中学校出身)



最初、トランポリンに乗るのは怖くて緊張しましたが、やってみると思ったより楽しかったです。二つのトランポリンで跳んでみましたが、かたさが異なりバランスを取るのが難しく、体幹が必要だと思いました。トランポリンを降りたときは、足がガクガクして上手く立てませんでした。同じコースの級友と話したり、技ができたときにはハイタッチをしたりして交流を深めました。怖さもありませんでしたが、トランポリンの楽しさに気づきました。

1年 樋田 美唯(階上町立階上中学校出身)



私は、本格的にトランポリンをするのは初めてだったので、どんなことをするのかとも楽しみでした。午前中は基礎的な練習をしました。基礎の中でも、四つん這いで跳ぶのが難しかったです。他にも色々な跳び方を体験しました。午後からは隣のトランポリンに移って、腹落ちや開脚跳び、抱え込みなどの技を教わりました。途中、高く跳びすぎて後ろに転んでしまったときは、講師の方が転び方を教えてくれました。トランポリン上と床での感覚が違うためタイミングが難しかったです。最後に一人一回ずつ好きな技を披露することになり、私は宙返りに挑戦しました。宙返りをする、先生方や皆から「もう一度見せてほしい」と言われて再度挑戦しました。このとき私は、器械体操をやっていた良かったと少し思いました。講師の先生にも褒めていただき嬉しかったです。今回の講座では、基礎の大切さや挑戦する楽しさを学ぶことができました。

【ゴルフコース】

1年 松浦 大河(六ヶ所村立第一中学校出身)



今回の体験を通してゴルフの面白さや楽しさを実感しました。自己課題としてあげた「楽しくしゃべり」ということは達成できたと思います。中学校のときにもゴルフを体験したことがあり、そのときの感覚がまだ残っていたので、遠くに打つことができ、とても楽しむことができました。また、ゴルフ場の方からフォームを見てもらい改善することができました。教えてもらうまでは、一球ごとに崩れていましたが安定するようになりました。また、ゴルフ場で学んだことがもう一つあります。それは、おもてなしです。ゴルフ場のスタッフの方が、高校生の自分たちに飲食物のサービスをして下さったり、丁寧に対応して下さいました。おもてなしの心は大切なことだと実感しました。今回の体験では、さまざまな人たちが関係して私たちが快適に使えるようにサポートしてくれていると実感できました。今後も感謝を忘れず学校生活を送っていききたいです。

ボランテニア講座

【修光園十日市コース】

1年 小泉 なつ華(白山台中学校出身)



老人ホームで働くというイメージは、大変で自分には向いていないイメージでした。しかし、今回のボランテニア講座で印象が変わりました。まず、施設の方からコミュニケーションについてお話を聞きました。話を聞いていたときは、自分にできるかな不安な気持ちが強かったです。けれども体験を通して大変なことではないことが分かりました。スタッフの方々と話している高齢者の方々に笑顔が多かったからです。次に施設の中を見学したり、車椅子の説明も受けました。施設環境全てが利用者の方々のため工夫されていたり驚いたことにもたくさんありました。介護職は正直視野には入っていませんでしたが、まずは何でもやってみるこの大切さを感じました。自身の視野が広がった講座となりました。

【修光園サテライトコース】

2年 木村 優仁(北稜中学校出身)



最初は、車椅子の汚れ落としと外のゴミ拾いのグループに分かれて活動しました。次に車椅子体験をしました。車椅子体験は、外の凸凹の道や段差をのぼる際の運転を体験しました。介助する側は、高齢者を乗せている感覚を意識しました。乗っている人が怖くないように運転するのは難しく、慎重さが求められました。車椅子体験で感じたことは、気遣いが大切ということでした。相手のことを考えながら生活することは普段の生活にも生きてきます。常に意識して生活していきたいです。

【寿楽荘コース】

1年 栗澤 実夢(根城中学校出身)

今回の講座で一番難しかったことは、利用者の方との会話です。一人目の方は、たくさん話することができましたが、二人目の方は、声が小さく聞き取りにくかったです。三人目の方は、耳が遠いせいか、質問しても同じ答えが何度も続き、職員の方がサポートしに来てくれました。レクリエーションをしても、利用者の方の気持ちが分からず、自分がどう動けばいいのか、どう返答すればいいのかを考えることが多かったのです。でも、軽音楽部の演奏では、利用者の方々が手でリズムを取ったり、笑顔になっていたりするのを見て、疲れましたが嬉しい気持ちになりました。



【千葉幼稚園コース】

3年 藤村 麻姫(三戸町立三戸中学校出身)



園児たちと過ごすことに、最初は緊張しましたが、遊んだり話したりしているうちに楽しくなりました。子どもたちと話すときは、一人ひとりと目を合わせよう心がけました。午後は、夏物の片付けや草取りなどをしました。普段は保護者がやっているの聞き、仕事もある中で子供のために時間を作っていることが分かりました。また、ひまわり祭りで使う物品を、お父さんたちが仕事終わりに作っているの

のことでした。誰かのために何かをすることは自分自身も嬉しい気持ちになることを改めて学びました。

【めばえ保育園コース】

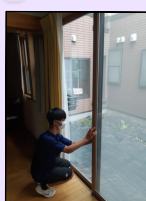
3年 釜谷 聖来(大館中学校出身)



前回と同じくめばえ保育園に行きました。今回は、子どもたちとお散歩に行き、遊ぶという内容でした。今回は粘土で花瓶を作り、園の敷地内で遊びました。今までは子どもたちに話しかけられるまで立っていただけでしたが、今回は自ら話しかけることができました。子どもたちもいろいろな話をしてくれて、花瓶を作るときも、きちんと話を聞いてくれたのでやりやすかったです。しかし、一人ひとりを見てみると他の子が暇になったりして大変でした。結局時間ギリギリに作り終え、花瓶も不格好になり、子どもたちに申し訳ない気持ちでいっぱいでした。保育園の先生方が手伝った花瓶はともきれいで、園児たち一人ひとりに対応しながらも丁寧な作業をこなす先生方に驚きました。園児が寝ている間に作品を整理したり飾ったりと、休む間もなく仕事をしている先生方を見習い、私も仕事に取り組みたいと思います。

【青南病院コース】

1年 石垣 聖央(古河市立三和東中学校出身)



最初は、青南病院近くの幼稚園に持って行くハロウィンのおもちゃ作りをしました。完成した物を持っていくと園児たちがとても喜んでくれたので頑張ったかがありました。その後、青南病院の利用者の方々と風船バレーをしました。利用者との風船バレーははじめてでした。自分が大人になったときのことを重ね、自分にできることで高齢者を助けたいと思いました。

【見心園コース】

3年 三浦 咲月(明治中学校出身)



午前は高齢者体験、午後は利用者さんと交流しました。施設に着くとオリエンテーションが開かれ、利用者の一人が私たちに話しかけてくれました。その方は視界が半分しか見えないそうで、「施設には目が半分しか見えなかったり、腕が片方しか上がらない方もいる」と職員の方が話されていました。見心園は、家での生活が難しい方もおり、職員に見守られて最期まで過ごす「家」として使われているそうです。また、高齢者体験は高齢者を理解するのに必要な体験でしたし、交流でレクリエーションも楽しめ、会話で元気をもらいました。「高校生なんだから頑張らなさいよ」と優しく掛けてもらった言葉が印象に残っています。高齢者が歩んできた人生を感じさせる重みのある温かい言葉でした。今まで以上に家族や身の回りの高齢者に寄り添えるようになりたいです。